

ゆっくり歩こう のどかな田舎の風景の中を

阿南健康第12番完歩

椿公民館の道

椿公民館

椿町浜14

TEL (0884) 33-1232

椿住民センター

TEL (0884) 33-1231



椿泊町駐在所：33-0004

トイレは曜日・時間
により利用できない
施設があります

ゆっくり歩こう のどかな田舎の風景の中を

阿南健康第12番完歩 椿公民館の道



●**椿川のシロウオ** シロウオとは、スズキ目・ハゼ亜目・ハゼ科に分類される魚である。シラウオと姿が似ているが、シラウオはキュウリウオ目シラウオ科に分類される全く別の魚である。シロウオは地元で「ヒウオ」と呼ばれている。体長は5cmほどで、ウロコがなく、黒い斑点がある半透明の魚である。古来より川の下流域へ集まる頃の成魚が食用に漁獲される。漁には十字に組んだ竹で四角形の網を吊るした「四つ手網」がよく使われる。網を川底に吊るし、シロウオの群れが網の上を通過したときに一気に引き上げて漁獲するもので、早春の下流域で四つ手網を繰り出す様子は春の風物詩である。料理法は生きたままポン酢などで食べる踊り食いや、卵とじ、吸い物などがある。

●**八幡神社** 昔、80歳くらいの老人がやって来て、椿の木で10cm

くらいの神像を刻んで放置したのを村人たちが産土神（うぶすながみ）として崇め奉ったのが、この神社の始まりであると伝えられる。また、地名の椿もこれに由来すると言われる。以前、八幡宮と称し、別当寺として吉祥寺が当たっていた。飛地境内社に、蒲生田の賀立神社、高岸神社、賀茂神社、紫野の峯神社がある。

●**椿たけのこ村** 阿南市はタケノコの産地として有名で、福井・新野・桑野・椿などに竹林が多い。1806（文化3）年頃、福井村中連の岩浅勝太が伊勢参りの折に孟宗竹の親竹を持ち帰り、金刀比羅下の山に植えたところ、おいしいタケノコが生えてきた。土質と気候が適したことから、雑木林を開墾して竹林にしていたのがタケノコ生産の始まりである。竹藪を開放して筍狩りを楽しめる「たけのこ園」があり、美しい自然の中で筍掘りを体験し、筍料理を満喫することができる。

●**吉祥寺** 貞治年中（1362～1368年）に開山された真言宗寺院である。阿南市には南北朝時代（1336～1392年）から室町時代（1336～1573年）にかけて禅宗、浄土真宗が導入されて豪族たちの支持を集めた。しかし、そんな時代でも真言宗が勢威を保っていたことを示している。1743（寛保3）年の『寛保御改神社帳』によると、吉祥寺の僧侶は八幡神社の管理を行う別当（べっとう）職に任じられていた。

●**賀茂神社遺跡** 1959（昭和34）年1月、椿保育園建設工事中に石斧が出土し、椿小学校に保管されている。砂岩質の磨製（ませい）石斧でほぼ完形である。これは弥生時代（紀元前8世紀～3世紀）の石器である。磨製石器とは石材の一部ないし全体を最終加工の段階で研ぎ磨いてつくった道具のことである。それより古い縄文時代には石材を打ち割っただけの打製石器を使用していた。

●**つばき夢トンネル** 2004年5月に開通した、全長371m、幅5m、高さ4.7mのトンネルである。農道は北側の椿町の小杭と香の地区（県道287号：福井椿泊加茂前線）と南側の高岸地区（県道200号：蒲生田福井線）とを繋いでいる。仮称は「高岸トンネル」であったが、公募により「つばき夢トンネル」と決まった。